令和5年度分
西郷村教育行政の点検及び評価報告書

令和6年7月

西郷村教育委員会

＜目 次＞

1	目的	1
2	法的根拠	1
3	実施方法	1
4	点検及び評価の対象年度	2
5	点検及び評価の方法と経緯	2
6	点検及び評価の基準	3
7	西郷村教育委員会の基本施策	4
8	令和5年度 重点施策	4
9	学校教育課に属する重点施策の点検及び評価	7
	(1)目標を達成できた施策(A評価)	8
	(2)目標をおおむね達成できた施策(B評価)	11
	(3)目標達成に改善を要する施策(C評価)	16
	(4)見直しを要する施策(D評価)	16
10	生涯学習課に属する重点施策の点検及び評価	17
	(1)目標を達成できた施策(A評価)	18
	(2)目標をおおむね達成できた施策(B評価)	23
	(3)目標達成に改善を要する施策(C評価)	24
	(4)見直しを要する施策(D評価)	24
11	教育委員の活動状況	25
	(1)教育長・教育委員会委員選任状況	25
	(2)会議・行事等の開催状況	26

西郷村教育行政の点検及び評価について

1 目的

西郷村教育委員会は、村民誰もが豊かな人生を全うできるように、教育行政のより一層の向上を図るとともに、今日的課題の克服や課題解決の方向性を明らかにするために、毎年、教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行う。

また、村民に信頼される教育行政を推進するため、点検及び評価の結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、村民に公表する。

2 法的根拠

平成 19 年 6 月に公布された、地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部改正により、教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況について、点検及び評価を実施することが義務づけられた。

第 26 条

教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

3 実施方法

(1) 点検及び評価は、毎年度策定する「西郷村教育委員会教育行政推進基本計画」に掲げられた「重点施策」について行うこととする。

- (2) 点検及び評価は、当該年度の施策の管理や執行状況を総括するとともに、課題や今後の取組の方向性を明らかにするものとし、毎年1回実施する。実施方法は、教育委員会の職員による「一次評価」と、学校教育、生涯学習関係者による「二次評価」を行うこととする。
- (3) 「一次評価」「二次評価」の結果について、学識経験を有する者の、「第三者評価」を受けることとする。
- (4) 教育委員会は、上記の点検及び評価を行った後、その結果を取りまとめた報告書を西郷村議会に提出するとともに、村民に公表する。

4 点検及び評価の対象年度

令和5年度

5 点検及び評価の方法と経緯

(1) 教育に関する事務の点検及び評価に関する規則（平成20年4月1日）

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第1項、第2項の規定により、西郷村における教育行政の点検及び評価に関する規則を制定した。

(2) 学識経験者に対する第三者評価委員の委嘱

点検及び評価をするにあたり、3名の西郷村教育行政評価委員を委嘱した。

- ・小野 保 国立那須甲子青少年自然の家所長
(任期：令和6年4月1日～令和8年3月31日)
- ・筒井 鈴枝 元西郷村立まきば保育園園長
(任期：令和6年4月1日～令和8年3月31日)
- ・古川 晃 元西郷村立西郷第一中学校校長
(任期：令和6年4月1日～令和8年3月31日)

(3) 一次評価及び二次評価の実施（実施期間：令和6年1月～令和6年3月）

- ・一次評価……教育委員会の職員、村内各小中学校長が、令和5年度の重点施策について、自ら点検及び評価を行った。
- ・二次評価……PTA関係者、学校運営協議会委員、学校関係者評価委員、社会教育委員、文化及び体育関係団体の委員などによる点検及び評価を行った。

(4) 第三者評価委員会の開催

①第1回第三者評価委員会（令和6年7月2日）

一次評価及び二次評価の結果を踏まえ、その内容を説明し、第三者評価委員からの意見を聴取した。

②第2回第三者評価委員会（令和6年7月17日）

第三者評価委員から報告書の内容・形態について、最終的な意見を聴取した。

6 点検及び評価の基準

評価の基準は、項目ごとに次の4段階とする。

A：目標を達成できた	(90～100点)
B：目標をおおむね達成できた	(60～89点)
C：目標達成に改善を要する	(30～59点)
D：施策の見直しを要する	(0～29点)

7 西郷村教育委員会の基本施策

西郷村の教育基本理念「自立と共生」の実現のため、令和5年度の基本目標を「自らを高め、共によりよく生きる人づくり」と定めた。基本目標を達成するため、9つの基本施策を掲げ、学校教育課、生涯学習課・中央公民館主幹の重点施策を実施した。

【基本施策】

- 1 幼児期の教育・保育の充実
- 2 子育て支援の充実
- 3 学校教育の充実
- 4 家庭・地域の教育力向上
- 5 教育環境の整備
- 6 生涯学習の推進
- 7 スポーツの推進
- 8 芸術・文化の振興
- 9 各種会議の充実と事務の適正な執行

8 令和5年度 重点施策

(1) 学校教育課主管事業

① 学校教育の充実

- ア 外部講師を招聘した一人一授業と校内互見授業の実施
- イ 子どもの姿から成果が見える必四学習の推進
- ウ 一人一台のタブレット端末を活用したICT教育の推進
- エ 学校事故防止と不祥事・不適切指導の根絶
- オ 学校図書館教育の充実

② 「心力」育成事業の推進

- ア 学校・家庭・地域が一体となった人権教育の推進
- イ 「特別の教科 道徳」の授業と評価の充実
- ウ いじめの積極的認知と適切な早期対応
- エ 心を豊かにする体験活動の充実

③ 「学力」向上事業の推進

- ア 一人一人を伸ばす確かな学力の向上
- イ 「真剣な学びのための10項目」、「西郷村教師スタンダード」を活用した授業改善PDCAサイクルの確立
- ウ 外国語教育の充実（T2としてのALTの効果的な活用及びオンライン英会話レッスンの実践）
- エ 英語検定料補助事業活用による英語力の向上

④ 「健康・体力」向上事業の推進

- ア 体力向上推進計画及び健康指導の実施
- イ 放射線教育、防災教育、感染症対策の取組の工夫と充実
- ウ 家庭との連携によるメディアコントロール力の育成

⑤ 幼稚園教育の充実

- ア 資質・能力の育成に向けた教育内容の充実
- イ 学びや指導の充実と教材の充実
- ウ 幼稚園におけるカリキュラム・マネジメントの確立
- エ 家庭・地域との緊密な連携による幼稚園教育の充実

⑥ 特別支援教育の推進

- ア 合理的配慮の提供と自立活動の充実
- イ 教育支援委員会での適正な就学指導審議
- ウ 特別支援教育に関する研修の充実（西郷地区特別支援連携協議会の開催）

⑦ 学校給食の充実

- ア 「にしごうマクロビ給食」の実践と、安全安心な学校給食の提供
- イ 学校、家庭と連携した食育の推進

⑧ 教育環境の整備と充実

- ア 長寿命化計画に基づく学校施設の修繕
- イ 学校規模適正化の検討
- ウ 小中学校入学祝金支給、修学旅行費補助金交付及び給食費の無償化による保護者負担の軽減

⑨ 地域とともにある学校づくり

- ア コミュニティ・スクールの充実

(2) 生涯学習課・公民館主管事業

① 体験活動・地域学校協働事業の推進

- ア わくわく探検隊事業の充実（新）
- イ 地域と学校の連携・協働による学校・学習支援事業の充実（新）

② 公民館活動の充実

- ア 西郷村単位制総合大学の内容の充実（新）
- イ 文化協会加盟団体・自主サークル団体数の増加に向けた取り組み（新）
- ウ 公民館図書室と学校図書館とのネットワーク化の推進
- エ 新庁舎建設後の文化センター利活用の検討（新）

③ 文化財の保存・活用

- ア 文化財保存活用地域計画の策定準備

④ スポーツの振興と健康増進

- ア 地域のニーズに即したスポーツ振興によるスポーツ団体増加への取り組み（新）
- イ 社会体育施設の有効活用の検討（新）

(3) 共通事業

部活動地域移行に向けた取り組み（新）

9 学校教育課に属する重点施策の点検及び評価

学校教育課に属する基本施策については、**1**幼児期の教育・保育の充実、**2**子育て支援の充実、**3**学校教育の充実、**4**家庭・地域の教育力向上、**5**教育環境の整備の5項目で、このうち**1**学校教育の充実、**2**「心力」育成事業の推進、**3**「学力」向上事業の推進、**4**「健康・体力」向上事業の推進、**5**幼稚園教育の充実、**6**特別支援教育の推進、**7**学校給食の充実、**8**教育環境の整備と充実、**9**地域とともにある学校づくりの9項目と生涯学習課との共通事業の部活動地域移行に向けた取り組みを令和5年度の重点施策として事業が実施された。

なお、**4**家庭・地域の教育力向上については、学校教育課単独ではなく、生涯学習課とも連携・協力しながら事業が実施された。

評価の結果、全30件中「目標を達成できた」事業が4件と令和4年度に比べ1件減少した。「目標をおおむね達成できた」事業が26件で、「目標達成に改善を要する」事業、「施策の見直しを要する」事業は無かった。

また、評価結果の段階ごとに主な重点施策や次年度以降も特に検証が必要な重点施策について、第三者評価委員による事業評価を行った。この結果を踏まえて、さらに改善や方策を検討し、次年度以降の教育行政を推進してほしい。

(1) 目標を達成できた施策 (A評価)

① [重点施策(1)-⑤-㌰] 幼稚園におけるカリキュラム・マネジメントの確立

事業内容・成果
<p>教育目標や「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」の実現に向けて、全体的な計画の見直しや必四学習を重視したカリキュラムを実施し、教師の資質・能力を育成、さらには幼小連携の円滑な接続に向け、連続性のある保育指導を探った。</p> <p>また、園内研修を充実させ、週指導計画案を活用した保育実践と多様な視点から保育指導の改善を図った。園内だけでなく、教育委員会、専門機関、家庭と幼児の情報共有を行い、協力関係を構築した。</p>
一次・二次評価者からの評価と課題
<p>教師が指導案を共有することで、情報の共有や指導案の活用に繋がった。</p> <p>また、教育専門指導員や指導主事に直接指導を受けることで教師の質の向上が図れた。</p> <p>保護者からは、毎月のおたよりにより、どんなことを目標にして活動しているかがわかり安心できるという評価を得た。</p>
第三者評価委員からの評価
<p>週指導計画案の活用と園内研修の充実により、指導技術の向上や多様な幼児の捉え方、発達理解への深まりについて、主体的・対話的で深い学びが実現できているかという視点から、指導の改善が図られた。</p> <p>今後も幼稚園教育を充実させるとともに幼児の育ちを園外に発信し、家庭、地域、教育委員会が一体となり支えていく取り組みを継続し、更なる保育の質の向上に努めてほしい。</p>

②〔重点施策(1)-⑦-イ〕 学校、家庭と連携した食育の推進

事業内容・成果
<p>栄養教諭による食育指導では、各学校・クラスごとに給食を題材とした指導等を62回、給食時間の学校訪問を15回実施した。また、栄養教諭と学校、保護者が連携し、自分手帳を活用した身体状況や食生活調査・給食摂取量調査、食物アレルギー対応に関する個別面談を実施し実態の把握及び評価を行った。食生活の把握では、本村の児童生徒は95%以上が朝食を摂取しており、幼児においては100%摂取している。</p> <p>さらに食育指導の継続により、今年度は朝食摂取率・野菜・汁物を食べている割合は、県とほぼ同じ数値まで改善した。</p> <p>また「給食・食育だより」を年11回発行し、家庭におけるよりよい食生活のための啓発を行った。</p>
一次・二次評価者からの評価と課題
<p>養護教諭と栄養教諭の連携による食育指導が行われ、健康と食事についての総合的な教育や保護者に対する食育啓発の取り組みが行われているとの意見を得た。</p> <p>食物アレルギー対応に関する個別の面談も実施されており、安全な給食の提供に努めた。</p>
第三者評価委員からの評価
<p>学校と保護者、栄養教諭との連携が図れていることは評価できる。</p> <p>また今後もバランスの取れた食事の摂取ができるように、食事の大切さを家庭へ周知し、児童生徒が望ましい食習慣を身につけ、自らの健康管理ができるように情報の発信も併せて行っていただきたい。</p>

③〔重点施策(1)-⑧-ウ〕 小中学校入学祝金支給、修学旅行費補助金交付及び給食費無償化による保護者負担の軽減

事業内容・成果
<p>①小中学校入学祝金：小中学校入学時に保護者に対して一律3万円の祝い金を給付</p> <p>②修学旅行費補助金：修学旅行に参加する生徒の保護者に対して3万円を上限に旅行費用を補助した。</p> <p>③給食費無償化：村立小中学校及び村外の小中学校に通学する村に住所を有する児童生徒の学校給食費及び同等の額を補助した。</p>
一次・二次評価者からの評価と課題
<p>入学祝金や修学旅行費補助金の支給など保護者の経済的負担軽減が図られ子育て支援が充実している。入学祝金は、さらに速やかな支給を行うため申請期間の検討が必要である。</p> <p>給食費の無償化については、他の自治体と比較して早期に制度導入を行ったことや区域外就学をしている村在住の児童生徒に対しても補助金を交付していることが評価された。さらに、給食費徴収に係る学校事務の軽減が図られた。</p>
第三者評価委員からの評価
<p>これらの支援制度について、保護者の経済的負担の軽減の効果があったと評価する。また、広く子育て支援を行っていることについては、もっとアピールすべきと思われる。今後も、子育て支援事業の継続に期待する。</p>

< A評価のその他の施策 >

④〔重点施策(1)-⑦-ア〕 「にしごうマクロビ給食」の実践と、安心安全な学校給食の提供

(2) 目標をおおむね達成できた施策 (B 評価)

① [重点施策(1)-①-オ] 学校図書館教育の充実

事業内容・成果
令和5年度に学校図書館の貸出・返却等事務のデジタル化として図書システムを全ての村立小中学校に導入した。全ての学校図書館の書籍にバーコードを附番し、児童生徒の図書カードのデジタル化を行った。システムの運用は作業終了した学校から順次行い、年度内に全ての学校で運用を開始した。
一次・二次評価者からの評価と課題
システム導入作業に伴う古い蔵書の整理や配架の見直しにより、図書館の利用促進及び事務軽減が図られた。 さらに、デジタル化による環境改善以外にも学校司書の増員も行われた。学校司書と連携して新刊を購入するなど児童生徒が図書に親しみやすい環境づくりが行われた。しかし、「居心地の良い空間づくり」と「読書量をいかに増やすか」という点に課題がある。
第三者評価委員からの評価
図書システムに蓄積されたデータから児童生徒の読書傾向を把握するなどデジタル技術を活用しながら読書の推進を図っていただきたい。併せて、教師が学校図書館を活用して児童生徒の自主的、自発的な学習活動を促す授業改善も実践していただきたい。 学校司書の配置人数は、まだまだ十分とは言えないので適切な配置が図れるよう人的整備の拡充を期待する。

②〔重点施策(1)-③-カ〕 外国語教育の充実（T2としてのALTの効果的な活用及びオンライン英会話レッスンの実践）

<p>事業内容・成果</p>
<p>県の小中英語パートナーシップ事業の指定を受け、拠点校（中学校・小学校）の授業参観を通して、「豊かな言語活動を通して、児童生徒の発信力を高める授業のあり方」について、意見を交えながら研究や研修を深めた。研修をとおして「授業のあり方」についての共通理解を図り、外国語科の授業の質の向上に努めた。</p> <p>また、ふくしま外国語教育推進リーダー1名、ALT4名を配置し、生きた英語の提供や児童のコミュニケーション意欲や学習意欲の向上を図った。オンライン英会話レッスンを実施し、コミュニケーション能力の向上を図った。</p>
<p>一次・二次評価者からの評価と課題</p>
<p>ふくしま外国語教育推進リーダーやALTの配置など人的整備の充実により外国語教育が推進された。しかし、ALTの交代が相次いで効果的な活用ができなかった学校もあり支援体制に課題があった。さらに、ALTについて外国語授業以外の活用にも期待が寄せられた。</p> <p>オンライン英会話レッスンの実践については、児童生徒の英語に対する興味関心が高まったが、レッスンのスケジュール調整に学校の負担が大きく、また、Wi-Fiに負荷が大きく通信が不安定であるなど運営や設備に課題がある。</p>
<p>第三者評価委員からの評価</p>
<p>オンライン英会話について、通信環境の整備は急務ではあるが、実施方法の見直し等により、安定したオンライン英会話の実施を目指していただきたい。</p> <p>また、ALTを学校に常駐させるなど、児童生徒が日常的に外国語を話すことが増えるきっかけになる様な新たな取り組みにより外国語教育やALT導入の効果が上がることを期待する。</p>

③〔重点施策(1)-⑧-イ〕 学校規模適正化の検討

事業内容・成果
<p>児童生徒数減少に伴う学校再編検討の必要性は本村も例外ではなく、学識経験者や学校関係者等によって組織された「西郷村学校適正化配置検討委員会」により令和4年度より検討が進められ、令和5年9月に「西郷村立小・中学校における学校規模の適正化・適正配置にかかる提言書」が提出された。同年10月に本提言書を村長に提出し、全員協議会において内容説明を行った。</p>
一次・二次評価者からの評価と課題
<p>学校適正化配置検討委員会より提言という形で一定の方針が示されたことは、この難しい問題に向き合うための大きな起点となった。</p> <p>学校が単なる教育機関としてではなく、地域住民の心理的支柱となっていることを踏まえ、「統廃合」ありきの議論ではなく、保護者や地域住民との意見交換など丁寧な議論を重ね慎重に進める様、要望があった。</p>
第三者評価委員からの評価
<p>学校は地域住民にとって地域の象徴であり、統廃合は非常にデリケートな問題であるが、人口減少に伴う課題として長期的な視点で検討を行っていく必要がある。</p> <p>今年度、提言書がまとまり村長及び議会に提出できたことは、検討を進めるにあたり高く評価できる。</p> <p>今後は、保護者や住民への丁寧な説明と幅広い議論は基より、児童生徒及び教職員との意見交換も併せて行い、財政面だけではなく教育環境の改善を中心に学校規模適正化の検討を進めていただきたい。</p>

④〔重点施策(3)〕 部活動地域移行に向けた取り組み（新）

<p>事業内容・成果</p>
<p>休日における部活動の地域移行について、学識経験者、スポーツ協会及び関係団体等によって組織された「西郷村部活動地域移行検討協議会」を令和5年度に立ち上げ、生徒にとって望ましい部活動の構築と地域における子どもたちの活躍の場の確保を図る観点から検討を進めた。また、次年度より地域クラブへの委託事業による事業実施案等、具体的方向性を示すことができた。</p>
<p>一次・二次評価者からの評価と課題</p>
<p>教職員の働き方改革や望ましい部活動のあり方の観点から、速やかに整備すべきとの意見がある一方、指導者の確保、育成及び報酬など様々な課題があり、慎重な議論により進めるべきとの指摘もあった。</p> <p>村教育委員会、学校やスポーツ協会、文化協会など団体間連携と西郷村における本改革の情報発信の重要性について多くの評価者が評価している。</p>
<p>第三者評価委員からの評価</p>
<p>スポーツ協会などの関係団体と連携し、児童生徒等にアンケート調査を行うなど村の取り組み方について評価する。</p> <p>部活動はスポーツや文化活動など幅広く、指導者となる人材の確保と育成や財政面の課題も多いが、児童生徒に望まれる活動ができる様、協議会で議論を重ね、できるところから進めていただきたい。</p>

< B 評価のその他の施策 >

- ⑤〔重点施策(1)-①-ア〕 外部講師を招聘した一人一授業と校内互見授業の実施
- ⑥〔重点施策(1)-①-イ〕 子どもの姿から成果が見える必四学習の推進
- ⑦〔重点施策(1)-①-ウ〕 一人一台のタブレット端末を活用したICT教育の推進
- ⑧〔重点施策(1)-①-エ〕 学校事故防止と不祥事・不適切指導の根絶

- ⑨ 〔重点施策(1)-②-ア〕 学校・家庭・地域が一体となった人権教育の推進
- ⑩ 〔重点施策(1)-②-イ〕 「特別の教科 道徳」の授業と評価の充実
- ⑪ 〔重点施策(1)-②-ウ〕 いじめの積極的認知と適切な早期対応
- ⑫ 〔重点施策(1)-②-エ〕 心を豊かにする体験活動の充実
- ⑬ 〔重点施策(1)-③-ア〕 一人一人を伸ばす確かな学力の向上
- ⑭ 〔重点施策(1)-③-イ〕 「真剣な学びのための10項目」、「西郷村教師スタンダード」を活用した授業改善PDCAサイクルの確立
- ⑮ 〔重点施策(1)-③-エ〕 英語検定料補助事業活用による英語力の向上
- ⑯ 〔重点施策(1)-④-ア〕 体力向上推進計画及び健康指導の実施
- ⑰ 〔重点施策(1)-④-イ〕 放射線教育、防災教育、感染症の取組の工夫と充実
- ⑱ 〔重点施策(1)-④-ウ〕 家庭との連携によるメディアコントロール力の育成
- ⑲ 〔重点施策(1)-⑤-ア〕 資質・能力の育成に向けた教育内容の充実
- ⑳ 〔重点施策(1)-⑤-イ〕 学びや指導の充実と教材の充実
- ㉑ 〔重点施策(1)-⑤-エ〕 家庭・地域との緊密な連携による幼稚園教育の充実
- ㉒ 〔重点施策(1)-⑥-ア〕 合理的配慮の提供と自立活動の充実
- ㉓ 〔重点施策(1)-⑥-イ〕 教育支援委員会での適正な就学指導審議
- ㉔ 〔重点施策(1)-⑥-ウ〕 特別支援教育に関する研修の実施（西郷地区特別支援連携協議会の開催）
- ㉕ 〔重点施策(1)-⑧-ア〕 長寿命化計画に基づく学校施設の修繕
- ㉖ 〔重点施策(1)-⑨-ア〕 コミュニティ・スクール導入の充実

(3) 目標達成に改善を要する施策 (C評価)

(C) の評価に該当するものは、無かった。

(4) 見直しを要する施策 (D評価)

(D) の評価に該当するものは、無かった。

10 生涯学習課に属する重点施策の点検及び評価

生涯学習課に属する基本施策については「生きがい」と「地域の教育力向上」に役立つ⑥生涯学習の推進、「かかわる」喜びを実感する⑦スポーツの推進及び⑧芸術・文化の振興の3項目と学校教育課との共通事業の部活動地域移行に向けた取り組みを令和5年度の重点施策として事業が実施された。

なお、④家庭・地域の教育力向上については、生涯学習課単独ではなく、学校教育課とも連携・協力しながら事業が実施された。

評価の結果、全9件中「目標を達成できた」事業が7件、「目標をおおむね達成できた」事業が2件で、「目標達成に改善を要する」事業、「施策の見直しを要する」事業は無かった。

また、評価結果の段階ごとに主な重点施策や次年度以降も特に検証が必要な重点施策について、第三者評価委員による事業評価を行った。この結果を踏まえて、さらに改善や方策を検討し、次年度以降の教育行政を推進してほしい。

(1) 目標を達成できた施策 (A評価)

① [重点施策(2)-①-ア] わくわく探検隊事業の充実 (新)

事業内容・成果
<p>わくわく探検隊は、村内の小学校4年生(20名)が学校の枠を越えて体験活動を行うことにより、困難を克服する力や協力する心を養い親睦を深めるとともに、自己肯定感やコミュニケーション能力の育成を図ることを目的とし、楽しい体験(フィールドワーク)と仲間づくり(コミュニケーション)をコンセプトに、SDGsに関する学習も含めて、計5回実施した。</p> <p>子ども達は、村内他校の友達との一緒に活動をはじめ、現地での楽しい体験や地元の方との交流により、「楽しかった」「うれしかった」という感想がとても多く、高い評価であった。</p>
一次・二次評価者からの評価と課題
<p>コロナが5類に移行し、隣接する下郷町・那須町での活動をはじめ、村外の様々な施設で見聞を広めたことは、感性を醸成する上でも大変有意義なことである。この体験活動により、参加者が将来的に指導的な立場になることも期待される。</p> <p>今後は4年生限定ではなく、幅広い学年での交流活動を考えてはとの意見があった。</p>
第三者評価委員からの評価
<p>体験活動や仲間づくりは、これからの子ども達の成長にとって非常に重要である。特に、村内の小学生の交流は、とても重要なことなので、今後も、継続して小学生対象の事業を実施してほしい。</p> <p>役場前の交差点の植栽奉仕活動はとても有意義な活動であり、今後も地域貢献の視点も入れた内容を検討してほしい。</p> <p>西郷村の魅力を再発見する上でも、村内外での様々な活動を取り入れていくとともに、多くの大人との交流も意図的に進めてほしい。</p>

②〔重点施策(2)-①-イ〕地域と学校の連携・協働による学校・学習支援事業の充実（新）

事業内容・成果

「学校支援」では、地域コーディネーターを3名増員し、3中学校区で100回以上の支援活動があり、多くのボランティアの協力があつた。また、地域の方による毎日の見守り活動も実施した。

「学習支援」では、小中学生を対象に7カ所で学習教室を実施した。登校日の他に夏季休業中にも開催した。

「放課後子ども教室」では、4教室97名の登録により実施した。各教室では、季節に応じた行事も実施した。

学校から地域清掃や村行事の補助役員として協力するなど計画はあつたが、感染症の影響により、地域貢献活動ができなかったものもあつた。

地域学校協働本部事業については、中央公民館だより・村広報・文化センター掲示板で周知した。また、県内外の大学関係者等から地域と学校の連携・協働について助言をいただいた。

評価・検証委員会では、「学習支援」「放課後子ども教室」を実際に視察してもらい、今後に向けての具体的な意見をいただくことができた。

一次・二次評価者からの評価と課題

地域コーディネーター3名、学習支援者1名、放課後子ども教室3名のスタッフを増員することができたことで、学校支援事業が充実し、学校の多忙化が少しは解消されてきた。活動を充実させるためには、地域人材の確保が何より大切である。

学習支援は、国語・算数だけでなく、理科の実験で楽しく学んだ学校もあり、支援の幅が広がってよかったとの意見があつた。

また、公民館だより等で、適宜広報していることで、この事業の成果がさらに村民に広く伝わっている。今後の取り組みについても、県内外の大学関係者から意見や指導助言をいただきながら進めていってほしい。

第三者評価委員からの評価

子どもを取り巻く環境が大きく変化している中、未来を担う子ども達を健やかに育むために、学校・家庭・地域の連携を図るとともに、コミュニティ・スクールと地域学校協働本部事業推進の一体化をさらに図ってほしい。

学校支援事業では、中学校区のコーディネーターをさらに増員するとともに、地域人材の掘り起こしを進め、持続可能な仕組みづくりを進めてほしい。

学習支援事業では、学力向上や学習意欲の喚起とともに、家庭環境や生徒指導面で困難を抱える児童生徒の居場所づくりにも繋げてほしい。

③〔重点施策-④-イ〕社会体育施設の有効活用の検討（新）

事業内容・成果
<ul style="list-style-type: none">・こども運動広場の利用申請について、村外からの合宿団体向けにより利用しやすいよう簡略化（メールによる申請）を行った。・各体育施設のホームページを作成、申請方法等をわかりやすく公開した。・村民体育館トレーニング室においてレディースデイを試験的に運用した。・村民体育館バスケットゴールを更新した。
一次・二次評価者からの評価と課題
<p>こども運動広場の利用申請を電子メール化することは、県外からの合宿利用促進に繋がり、利用者の幅も広がることとなるため評価が高かった。その他、村内利用者についても利便を図ることにより、利用者の増加に繋げることや、広場周囲の緑化、裸地部の解消等について要望していた。</p> <p>村民体育館の利用については、トレーニング器具の更新等を実施したことにより、利用者が昨年の2倍となったことを大変評価していた。トレーニング器具の更新にあわせて実施した、トレーニング室におけるレディースデイの試験運用についても、従来にない柔軟性と、その後の女性利用者が少ないため運用を中止した迅速な対応が評価された。今後は予算や配置場所の問題もあるが、女性利用者の意向や機器の配置、実施日、場所の拡充を検討してはどうかとの意見もあった。</p> <p>村内の各体育施設については、村内外へ積極的な広報活動を展開し、施設利用の促進を図るようにとの要望があった。また、施設及び器具の老朽化が進んでいるため、改修及び器具の更新は常に留意する必要があるが、器具の点検等、事故防止も含めた対応をあわせて推進してもらいたいとの意見があった。村民体育館は、アリーナの床が滑る状態が散見されるため、ワックス掛けの回数やリペイント等の実施を要望していた。</p>

第三者評価委員からの評価

こども運動広場については、今後も合宿利用促進を進め、来村者数の増加に寄与してもらいたい。あわせて、施設の整備等、より利用しやすい施設づくりを進め、村民並びに近隣の方々の利用促進に繋げてもらいたい。

村内の各体育施設については、二次評価にもあるように、施設及び器具の老朽化が進んでいるため、施設の改修や器具の更新を進めるとともに、実施した際は村内外へ広く広報を実施し、利用者数の増加へと繋げてもらいたい。

また、施設や器具の点検等、安全面の配慮を推進することにより、より利用しやすい施設づくりに努めてもらいたい。とくに、村民体育館の雨漏りについては、近隣住民の指定避難場所でもあるため、早急に対応をする必要があるのではないか。

< A評価のその他の施策 >

- ④〔重点施策(2)-②-ア〕西郷単位制総合大学の内容の充実（新）
- ⑤〔重点施策(2)-②-イ〕文化協会加盟団体・自主サークル団体数の増加に向けた取り組み（新）
- ⑥〔重点施策(2)-②-ウ〕公民館図書室と学校図書館とのネットワーク化の推進
- ⑦〔重点施策(2)-④-ア〕地域のニーズに即したスポーツの振興によるスポーツ団体増加への取り組み（新）

(2) 目標をおおむね達成できた施策 (B 評価)

①〔重点施策(2)-②-エ〕新庁舎建設後の文化センター利活用の検討 (新)

事業内容・成果
①新庁舎完成後の文化センターのあり方や各研修室等の利用について検討を行った。 ②生活改善センター内にあった各部署の文化センターへの移動とそれに伴う整備を実施した。 ③次年度実施する LED 化等への準備を図った。
一次・二次評価者からの評価と課題
課内での検討までは行っており、令和 5 年度は生活改善センターにあった部署の受入に伴う整備をしているが、スペースの問題等の課題が挙げられている。新庁舎完成後の文化センターの利活用については、案などの情報提供もないため、どちらかという要望の色合いが濃い。特に図書室については、1 階への移動もしくは 2 階にそのままある場合にはエレベーターの設置などのバリアフリー化及び学習スペースの確保などがあげられており、課題として今後検討すべきものと考えられる。
第三者評価委員からの評価
新庁舎建設後の文化センターの利活用は、完成する新庁舎とともに村民の関心事である。令和 7 年度完成予定であるため、令和 5 年度は議論が本格化せず、生活改善センターにあった部署の移動が主となっているように見受けられる。 また、新庁舎建設に伴っての組織再編や予算といった教育委員会だけでは決められない部分もあり、思うように進まない面があるのも理解できる。 今後、利用する村民目線での利活用の検討を行い、村の文化振興の拠点たる文化センターの利活用の議論を本格化させてほしい。

< B 評価のその他の施策 >

②〔重点施策(2)-③-ア〕文化財保存活用地域計画の策定準備

(3) 目標達成に改善を要する施策 (C評価)

(C) の評価に該当するものは、無かった。

(4) 見直しを要する施策 (D評価)

(D) の評価に該当するものは、無かった。

11 教育委員の活動状況

(1) 教育長・教育委員会委員選任状況

(令和6年4月1日現在)

職名	氏名	任期	就任
教育長	秋山 充司	R3.11.1 ~ R6.10.31	R3.11.1
教育長職務代理者	勝又千賀子	R4.10.18 ~ R8.10.17	H22.10.18
委員	佐藤 敏巳	R2.10.1 ~ R6.9.30	H24.10.1
委員	村田 清	R5.10.1 ~ R9.9.30	H28.3.22
委員	鈴木 忍	R3.12.22 ~ R7.12.21	R2.6.24

(2) 会議・行事等の開催状況

期 日	会議・行事等	備考
4 月 3 日	西郷村公立学校教職員合同着任式	
4 月 6 日	村立小中学校入学式	
4 月 7 日	村立幼稚園入園式	
4 月 21 日	教育委員会第 1 回定例会	
5 月 25 日	縣市町村教育委員会連絡協議会西白河支会総会	西郷村
6 月 20 日	教育委員会第 1 回臨時会	
7 月 11 日	教育総合会議	
7 月 21 日	教育委員会第 2 回定例会	
8 月 24 日	縣市町村教育委員会連絡協議会教育委員・教育長研修会	福島市
10 月 4 日	教育委員会第 3 回定例会（学校訪問：羽太小学校、幼稚園、給食センター、川谷小中学校）	
10 月 12 日	教育委員視察研修（山形県長井市）	
11 月 14 日	教育委員学校訪問（米小学校、西郷第二中学校）	
11 月 22 日	縣市町村教育委員会連絡協議会県南ブロック研修会	塙町
12 月 13 日	教育委員会第 2 回臨時会	
1 月 22 日	教育委員会第 4 回定例会（学校訪問：小田倉小学校、熊倉小学校、西郷第二中学校）	
1 月 26 日	那須町・西郷村教育委員会合同研修会	那須町
3 月 4 日	教育委員会第 3 回臨時会	
3 月 13 日	村立中学校卒業式	
3 月 18 日	村立幼稚園卒園式	
3 月 22 日	村立小学校卒業式	
3 月 28 日	西郷村公立学校教職員合同離任式	